

## ～オランダ連携プロジェクト～ Game Changerの活躍を目指して

**時** 11月27日(火)①午後1時30分～3時30分 ②4時～6時  
**場** 西原総合教育施設  
**内** ①オランダで行われているスポーツ活動の体験  
②オランダ流障害者との向き合い方ワークショップ  
**対** 市内でスポーツ活動に関わっている方  
**講** アライダ・ノルブラウスさん(プロパラリンピック自転車選手。リオパラリンピック金メダル。そのほか、

身体障害者の日々の生活行動支援活動を行う)  
**持** 動きやすい服装、室内履き  
**申** 11月22日(木)までに、メールで氏名・年齢・電話番号を下記へ  
▶スポーツ振興課(保) ☎042-438-4081  
✉sports@city.nishitokyo.lg.jp



アライダ・ノルブラウス選手

## 12月3日～9日 障害者週間

### □障害者週間とは

広く障害福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害のある方が社会・経済・文化・その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されています。毎年、この期間を中心に、国・地方公共団体・関係団体などにおいて、さまざまな意識啓発に係る取組を展開しています。

日常生活や事業生活の中でできる配慮や工夫を一緒に考えてみましょう。だれもが暮らしやすい共生社会

の実現はそうした一歩から始まります。本市でも、障害者週間事業として下記のイベントを開催しますので、ぜひお越しください。

### ◆ともに生きる！まちづくり キックオフ・フェス ～地域共生社会を目指して～

**時** 12月8日(土)午前10時～午後4時  
**場** 西東京市民会館  
※詳細は11月1日号1面をご覧ください。

▶障害福祉課(保) ☎042-438-4033

市内の情報をお届けします

大好き  
です 西東京

ふるさと発見！20

文化財が語る  
西東京市の物語

## ⑥武蔵野の人々の学問・文化・文学

学生時代「民族学」への入会を考えたことがあります。先生にご相談すると「それなら保谷だね」とおっしゃられました。当時民族学協会の事務局は旧保谷市にあったからです。

保谷はかつて「民族(俗)学の聖地」と呼ばれていたことがあります。なぜなら、そこには、日本初の野外博物館でもある「民族学博物館」があり、宮本馨太郎や宮本常一ら気概に満ちた学者たちが集っていたからです。

「民族学博物館」の開設を構想し実現したのは、近代日本資本主義の父ともいわれる渋沢栄一の孫、渋沢敬三です。子どもの頃から研究者を志していながら、祖父の跡を継ぎ経済界に進まなければならなかった敬三は、パトロンとして多くの学者たちを支え、またそういった学者たちを集め学問分野を超えた学術連合調査を実施しました。その敬三が夢見たのが、若き日にスウェーデンで訪れた普通の人々の暮らしをそのまま保存・展示する野外展示のある「民族(俗)学博物館」の開設でした。

その夢に呼応したのが、藍で財を成し、当時下保谷の大地主であった高橋源太郎家の長男、高橋文太郎です。文太郎は山の民俗学を志し「アチックソサエティ」という敬三が主宰する研究会に参加していました。敬三に「武蔵野のけやきのよう」と評されるようなまっすぐな人物で、彼が昭和10年(1935年)に刊行した『武蔵保谷村郷土資料』は西東京市、特に旧保谷の昔を知る貴重な資料で

あるばかりでなく、戦前の武蔵野の農村文化を知るためには欠かせない文献になっています。

文太郎は現在の東町にある自らの土地を寄附し、それに敬三が購入した土地を合わせ(のちに文太郎は寄附を撤回。その理由は分かっていません)、昭和14年(1939年)博物館を開館しました。

このとき計画図を描いたのは「考現学」「生活学」で著名な今和次郎です。今は早稲田大学の建築学の教授をしており、東伏見にあった「長者園」に造った自宅は自慢の住まいだったようです。

東伏見には、著名な詩人も居を構えました。戦争のこと、自らのこと、美しい風景などを題材にさまざまな詩を作った女流詩人茨木のりこです。彼女の家は下野谷遺跡の範囲内にあり、縄文遺跡をうたった詩も作っています。

そのほかにも本市に関連する文化人も多くいます。秋の夜長、本やインターネットを友として、本市を学問・文化・文学の観点からひも解いてみるのも楽しいかもしれません。



郷土資料室で展示している「民族学博物館」の復元ジオラマ

▶社会教育課(保) ☎042-438-4079

## 風しん対策抗体検査・予防接種

11月15日(木)から、風しんに対する抗体検査および予防接種の対象者を拡大します。

### □先天性風しん症候群対策の抗体検査(無料)・予防接種(5,800円)

**対** 在住の19歳以上で、①妊娠を予定または希望する女性 ②①の同居者  
**③** 妊婦の同居者  
**持** 該当する以下のもの  
●保険証など住所がわかるもの

●同居している女性または妊婦の住所がわかるもの

※予防接種は、抗体検査の結果、接種が必要とされた方のみ補助します。  
※予防接種対象者のうち、生活保護受給世帯などの方は、受給証明書を医療機関に持参すれば、接種費用は無料

※詳細は、市(保)または下記へ

▶健康課(保) ☎042-438-4021



## 西東京市消費生活展



### ①講演会「プラスチックによる環境汚染 海を汚すマイクロプラスチック」

レジ袋やペットボトルなど身近なプラスチック製品が紫外線や波で細かく砕かれたマイクロプラスチックが海を汚していると同時に、魚の体内から見つかっています。日本に限らず世界で深刻な問題となっている5mm以下の微細なごみについて、一緒に考えてみませんか。

**時** 12月15日(土)午前10時～正午(9時45分開場)

**場** きらっと ※当日、直接会場へ

**定** 70人

**講** 高田秀重さん(東京農工大学教授)

□保育 6カ月以上の未就学児・6人(申込順)

### □保育の申込

11月30日(金)までに、メール・ファクスで件名「消費生活展講演会保育申込」・住所・氏名・子どもの氏名と年齢・電話番号を下記へ

### ②出張パネル展示

日常生活に密着した食・ごみ問題・再生可能エネルギーなどをテーマに、パネル展示や体験プティベントで役立つ知識を分かりやすく紹介します。より良い生活を送るためのきっかけにぜひお立ち寄りください。

**時** 12月17日(月)～21日(金)午前10時～午後4時30分

**場** 柳沢公民館

□企画・運営 同実行委員会

▶協働コミュニティ課(保) ☎042-438-4046

FAX 042-438-2021・✉kyoudou@city.nishitokyo.lg.jp



## 多摩六都科学館 ナビ

### ①ICRRサイエンスカフェ

### 「酸素が伝える初期宇宙の銀河」

133億光年離れた銀河に酸素が見つかりましたが、この酸素はどのようにして見つけたのでしょうか。なぜはるか遠い銀河にも太陽系と同じような星があるのでしょうか。

宇宙の謎を一緒に考えてみましょう。お話は高校生程度を想定しています。

**時** 12月8日(土)午後2時～3時30分

**対** 小学5年生以上

※参加者以外の入室不可

**定** 36人

**¥** 入館券500円(小人200円)

**講** 馬渡健さん(東京大学宇宙線研究所特任研究員/ICRRフェロー)

□共催 東京大学宇宙線研究所(ICRR)

### ②天体観望会

### 「見えるかな？巨大氷ガス惑星の天王星」

太陽系第7惑星、天王星観望にチャレンジ。月やすばる、火星も観望します。

小平・東村山・清瀬・東久留米・西東京市の方が優先で参加できます。

**時** 12月15日(土)午後6時30分～8時

**対** 小学生以上(小学生は保護者と参加) ※参加者以外の同伴不可

**定** 50人



天体観望会の様子

### □共通

**申** ①は11月26日(月)(必着)、②は12月3日(月)(必着)までに、**問**の(保)からまたははがきでイベント名・開催日・氏名・年齢(学年)・郵便番号・電話番号を**問**へ(申込多数は抽選し、当選者のみ参加券を送付)

**場**・**問** 多摩六都科学館 〒188-0014 芝久保町5-10-64・☎042-469-6100

休館日：19・26日(月)